

標準施工要領書

ワンタッチ接続付き丸型分岐チャンバー

「F-ONE タートルチャンバー」

作成	2018年2月1日
改訂	2023年4月7日

フジモリ産業株式会社

ワンタッチ接続付き丸型分岐チャンバー

F-ONE タートルチャンバー

1-1.

使用上の 注意事項

- ワンタッチ接続は、チャンバーの分岐管と保温フレキの接続部分に適用します。
チャンバーの主管は、従来の接続方法です。
- 使用前にチャンバーおよび保温フレキに変形など異常がないか確認してください。
- チャンバーおよび保温フレキは、過度な荷重・衝撃・重量物の落下等が加わるとキズ・変形・破損する可能性があります。
- チャンバーおよび保温フレキは、運搬時に引きずるとキズ・変形・破損する可能性があります。
- 一般空調用でご使用ください。
有毒ガス等が発生する特殊用途での使用を避けてください。

1-2.

保管上の 注意事項

- チャンバーおよび保温フレキの保管は、屋内の通気性の良い場所に保管してください。
以下のような場所では、製品劣化の恐れがあります。
 - 直射日光にあたる場所
 - 高温となる場所
 - 水や蒸気のかかる場所
 - 過度の湿度や乾燥が著しい場所
- チャンバーおよび保温フレキの保管中は、過度な荷重や衝撃等が加わると変形・破損する可能性があります。
- チャンバーは、安全を考慮して積み重ねを4段程度、高さ1.5m程度の範囲内で保管してください。

1-3.

施工時の 注意事項

- チャンバーは、ボルト固定の際に本体が歪むようなことがないように注意してください。
- 保温フレキは、片側にワンタッチ接続用の接続管が取付けてあります。接続管内側には、突起部がありますので注意してください。作業の際は、手袋等を着用してください。
- チャンバーと保温フレキを接続した後は、基本的に取外しができません。接続の際は、保温フレキの接続箇所を間違えないようにしっかりと確認してください。
- 保温フレキは、接続確認を実施し確実に接続してください。
- ワンタッチ接続部には、過度の引張力がかからないように注意してください。
- チャンバーから最初の吊り込みには撓みや局所的な曲げ等が無いように吊り込んでください。
- チャンバーから最初の吊り込みは、1.0m以内で吊るよう吊り支持を設けてください。
- 高温を発生するボイラー、蒸気配管等の近くへの取付けは、避けて下さい。
- チャンバーと保温フレキの接続部において保温フレキを接続間違いした場合、フレキ側のテープとバンドを取外し、保温フレキを引き抜いて取外して下さい。接続し直す場合は、従来工法のように保温フレキを被せてバンド・鉄板ビス・テープを使って接続して下さい。
- チャンバーと保温フレキの接続部において保温フレキの口径が変更になる場合は、チャンバー側に異径管を取付けてから接続して下さい。
ただし、異径管部には保温作業が必要となります。

ワンタッチ接続付き丸型分岐チャンバー

F-ONEタートルチャンバー

2-1.

チャンバー
標準寸法

1. チャンバー標準寸法

※吊り金具は、4、6、8分岐共通

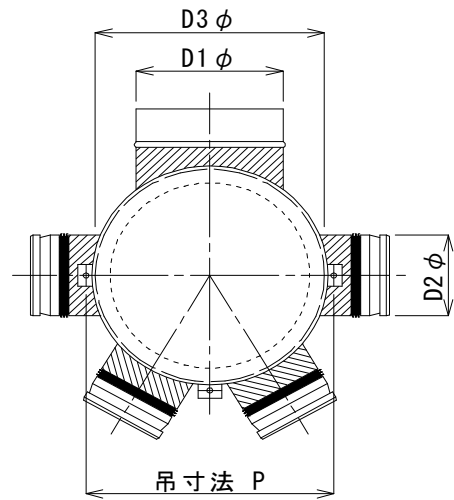
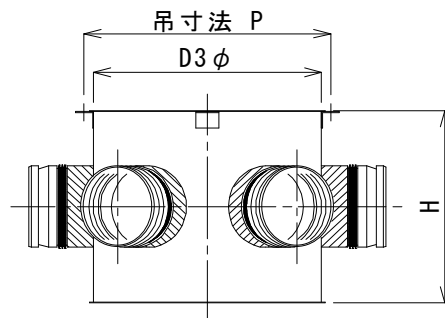


表1. チャンバー規格表

型番	フレキ 接続数	D2 φ mm	D1 φ mm	D3 φ mm	H mm	吊寸法 P mm	風量目安 m ³ /h
TCK4-1525	4	150	250	390	350	422	~1018
TCK4-1730		175	300	430	400	462	~1385
TCK4-2035		200	350	480	450	512	~1810
TCK6-1530	6	150	300	450	400	482	~1527
TCK6-1735		175	350	510	450	542	~2078
TCK6-2040		200	400	570	500	602	~2714
TCK8-1535	8	150	350	550	450	582	~2036
TCK8-1740		175	400	610	500	642	~2771
TCK8-2045		200	450	680	550	712	~3619

※風量目安：吹出風速<4.0m/sにて算出

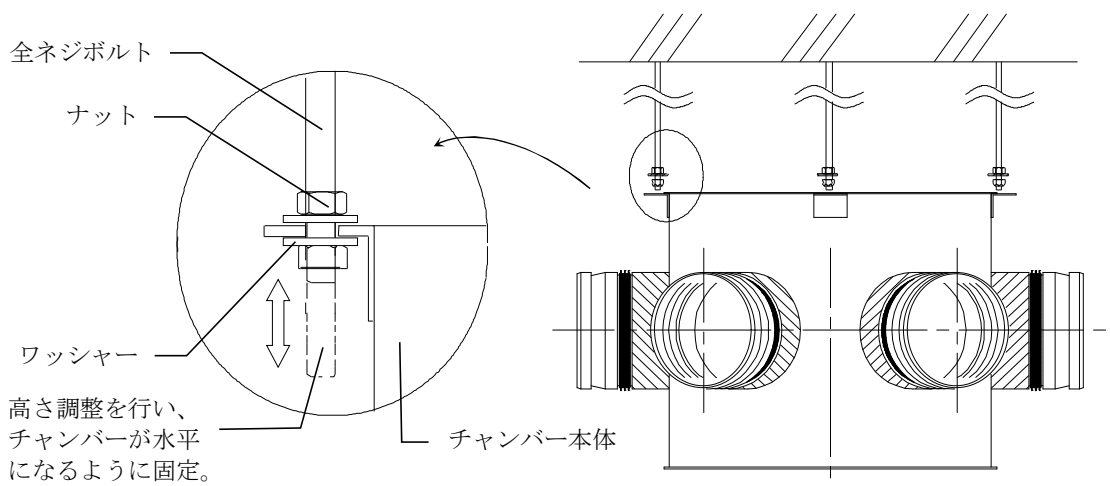
2-2.

チャンバー
取付方法

1. 高さ調整を行い、チャンバーが水平になるように固定してください。

注意事項：

チャンバーは、ボルト固定の際に本体が歪むようなことがないように注意してください。



2-3.

保温フレキ
接続方法

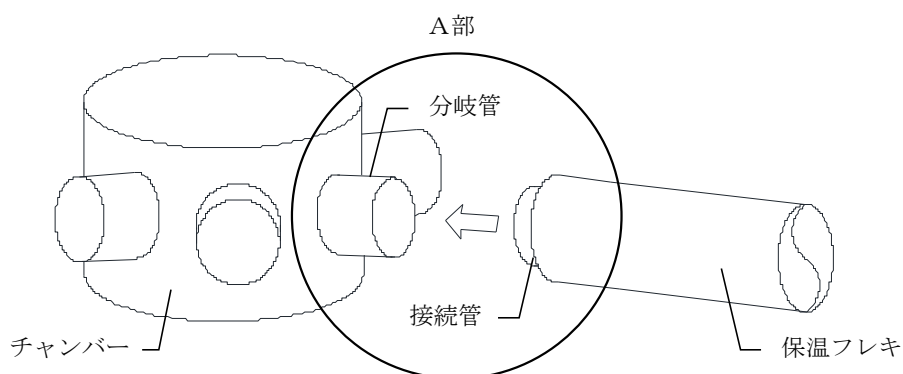
1. チャンバーの分岐管に保温フレキの接続管を被せます。

保温フレキは、片側にワンタッチ接続用の接続管が取付けてあります。取付け側には、カラーテープが巻かれています。カラーテープ部分を持って被せます。

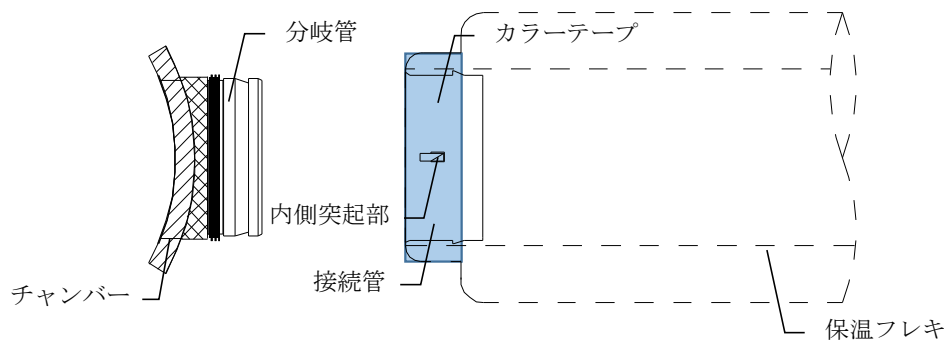
注意事項：

- ・保温フレキは、片側にワンタッチ接続用の接続管が取付けてあります。接続管内側には、突起部がありますので注意してください。作業の際は、手袋等を着用してください。
- ・チャンバーと保温フレキを接続した後は、基本的に取外しできません。接続の際は、保温フレキの接続箇所を間違えないようにしっかりと確認してください。
- ・保温フレキは、接続確認を実施し、確実に接続してください。

取付けイメージ



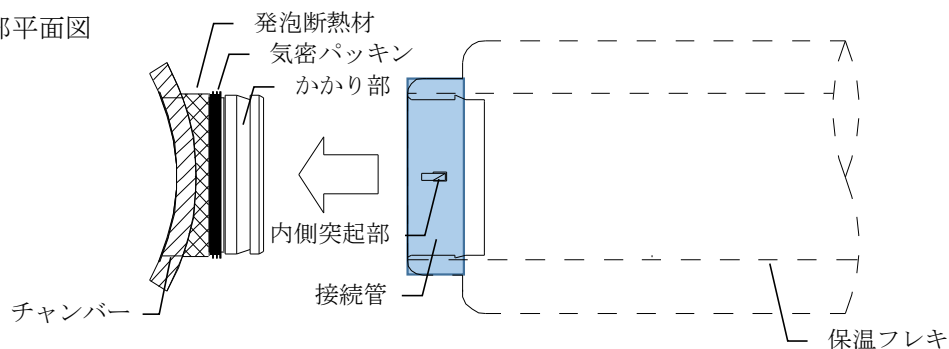
A部平面図



2. 保温フレキの接続管先端は、分岐管の発泡断熱材まで確実に被せます。

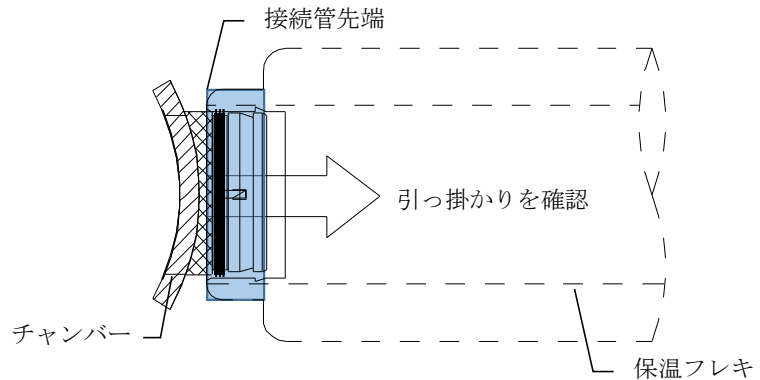
接続管を分岐管と水平に被せます。気密パッキンの抵抗で被せ難い時は、左右に少し回転させながら確実に被せます。

A部平面図

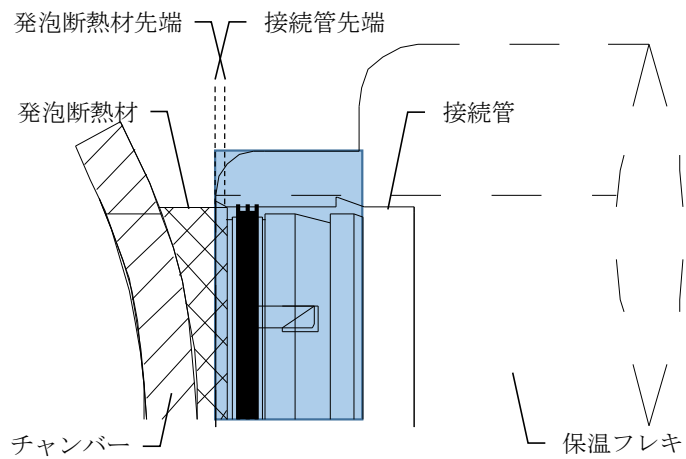


3. 保温フレキの接続管先端に指を掛けて引張り接続確認をします。
確認後、接続管先端は、分岐管の発泡断熱材まで確実に被せます。

A部平面図



A部平面図拡大
被り部詳細



2-4.
フレキ
取付方法

1. 保温フレキを吊りバンド等により吊り込みます。
チャンバーから最初の吊り込みは撓みや局所的な曲げが無いように1.0m以内で吊り込みます。接続部に引抜力が掛からないようにしてください。

注意事項：

- ・ワンタッチ接続部には、過度の引張力が掛からないように注意してください。
- ・チャンバーから最初の吊り込みには撓みや局所的な曲げ等が無いよう吊り込んでください。
- ・チャンバーから最初の吊り込みは、1.0m以内で吊るよう吊り支持を設けてください。
- ・高温を発生するボイラー、蒸気配管等の近くへの取付けは、避けて下さい。

取付けイメージ

